

## 「自ら学び高め合う児童の育成」

～ 自分の考えをわかりやすく伝えようとする子どもを目指して～

### I 研究の内容

#### 1 研究仮説

各教科において、自分の考えたことを相手にわかりやすく伝えることを取り入れた授業を工夫することにより、自ら学び高め合う子どもの育成を図ることができるだろう。

#### 2 研究の内容と具体的方法

##### (1) 研究の内容

- ・「考えたことをわかりやすく伝えようとする」理論研究。
- ・授業研究（全体研究・一人一実践）。
- ・言語活動の充実と活用に関する研究。

##### (2) 研究の具体的方法

- ・全体研究会などで討議や企画を行い研究を推進していく。
- ・各種の調査や学力テストを活用する。
- ・研究授業や授業公開の機会を設け情報交換をして研究を深める。
- ・指導主事を招聘し、研究授業を行い、指導を受ける。
- ・研究の成果を研究紀要にまとめる。

#### 3 具体的実践

##### (1) 授業研究

1・2年図工 「見つけたよ いいかんじ」 小川真知子教諭

・材料の特徴を生かし、組み合わせたり、つなげたりしながら表したいことを見つけ、絵に表す。友だちの作品にも目を向け、作品について意見を言い合う活動を通して、自己開示できる個の育成を図る活動を行った。

指導・助言 峡東教育事務所 指導主事 宮澤 洋一先生

##### (2) 授業実践

ア 2・3年算数 時こくと時間の計算のしかたを考えよう 阿部伸之介教諭  
戸嶋佐也加教諭

イ 4年算数 垂直・平行と四角形 武井 茂教諭

ウ	5年国語	食べ物のひみつを教えます	望月真佐恵教諭
エ	5・6年音楽	曲想を味わおう	竹川 美和教諭
オ	こなら算数	どんな計算になるのかな	沼田 豊子教諭

## II 成果と課題

### 1 成果

- ・学力状況調査等の教師による役割分担解析により、教師同士の共通理解が得られるとともに、各学年の状況が詳細に理解できた。
- ・具体的な学力状況調査等の問題をもとに、児童の様子話し合うことが出来、これからの指導の重点を意識することが出来た。
- ・授業研究を中心に研究を進めたことはよかった。図工の授業で、子ども達が友達の作品に意見を出し合う場面がよかった。
- ・理論研究の一環として、外部講師を招聘し、講義をしていただいたことにより、「わかりやすく相手に伝える児童を育てる」には、どのような手だてを取っていくことがよいのかなどを学ぶことができ、学んだことを授業に生かせる場面が増えてきている。
- ・提案授業及び各学年で一人一実践の授業をしたことで、お互いに学び合うことができた。授業を参観することが、「わかりやすく相手に伝える」をのばすための指導の工夫や改善につながった。

### 2 課題

- ・今年から始めた研究テーマであったため、なかなか実践することができなかった面もあり、さらなる深まりを求める研究にするために継続研究をしていくことが良いのではないかと考える。
- ・自分の考えをわかりやすく相手に伝えようとする事について、もう少し継続して取り組んでいきたい。
- ・気心が知れている仲間であり、少ない児童数だからこそ、相手にわかるように伝えるための工夫や話し方の大切さを学ばせるとともに、相手の考えをしっかりと聞く育成の必要性を改めて感じた。

## III 成果物

- ・授業研究・授業実践の授業案(ワークシート等も含む)

(研究主任 阿部 伸之介)